

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2019年度達成度評価表 分野:研究

		評価	理由
中期目標	多様で優れた学術研究を奨励し、その成果を広く社会に還元するとともに、地域と連携した特色ある研究の拠点形成を推進します。		
中期計画	1 研究環境の整備充実	C	情報ネットワーク環境の充実や検収体制の強化など一定の成果が確認できており、概ね計画どおりに進んでいるといえる。しかしながら、「地域創生」に係る研究センターの設立などの学部独自の計画については、計画どおり進捗していないものも見られることから、計画の見直しや改善の必要がある。
	2 多様な外部資金の獲得	C	科研費等競争的資金や寄付や企業との共同研究による外部資金の獲得については、研究支援センターが中心となって支援を行っているものの、申請率はまだまだ向上の余地がある。大型プロジェクトへの応募も課題である。また、各学部において、どのような支援を行うことが申請数の増加につながるのかの検討段階で計画が頓挫しているものもあり、研究支援センターとの連携や各学部間での情報交換の必要があると考えられる。
	3 学内・学外との研究連携促進	B	各学部において、地域研究推進などの取り組みが活発に行われており、一定の成果が上がっている。しかしながら、具体的な活動が見られない学部も散見されるため、拠点形成を推進していくためにも今後の計画に具体性をもたせたいと、期間内に達成できるよう計画を進めていくことが必要である。

評価 S:目標よりはるかに上回る、A:目標をやや上回る、B:おおむね目標どおり、C:目標をやや下回る、D:目標をかなり下回る